

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行います。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

45th

第45期 中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

weds

株式会社ウェッズ



weds

 CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>

車と社会の未来を
グローバルに創造する



証券コードNo.7551

● トップメッセージ

経営理念

「ウェッズの永遠のテーマ、それはCHALLENGEです。私達は人と車の未来に向けて、常に新しく価値ある商品を創造し社会に貢献します。」

経営指針

「私達は、お客様最優先の営業方針と会社・株主・社員三位一体の取り組みにより、会社の繁栄と安定を追求して、株主利益の向上と社員のライフプラン充実に努めます。」



代表取締役社長 川口 修

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社の第45期中間報告書をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済の減速やリーマンブラザーズの破綻に端を発した世界同時金融不安、国内における昨秋以降の企業業績と個人消費の落ち込みなどにより、引き続き景気の低迷が懸念される状況となりました。特に個人消費は、雇用状況の悪化に加え、所得環境も一段と厳しさを増しております。一方、今春の定額給付金、エコカー減税、エコポイント制度などの施策効果から一部には下げ止まりの動きがみられる状況となりました。しかしながら、当社グループと密接な関係にある自動車業界や自動車用品のアフターマーケットの需要は依然として低調に推移しております。

このような環境において、当社グループは懸命な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は自動車関連卸売事業、開発事業の減収等により8,082百万円（前年同期比11.8%減）、当第2四半期連結累計期間の営業利益は18百万円（前年同期は15百万

円の営業損失）となりました。当第2四半期連結累計期間の経常利益は36百万円（前年同期比34.1%減）、当第2四半期連結累計期間に特別利益を19百万円計上したことにより当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は32百万円（前年同期比53.0%増）となりました。

通期の見通し

通期のわが国経済の見通しは、引き続き厳しい状況が続くと予想しておりますが、今期のこれまでの状況を踏まえ、また為替差益と販売費削減を織り込み、当社グループの通期の見通しは、下記のように見込んでいます。

（連結業績の見通し）

売上高	20,000百万円	前年比	93%
営業利益	450百万円	前年比	162%
経常利益	450百万円	前年比	148%
当期純利益	210百万円	前年比	189%

当第2四半期連結累計期間の事業セグメント別業績

●自動車関連卸売事業

自動車関連卸売事業は個人消費の低迷の影響により、売上高は6,377百万円となり前年同期比875百万円（12.1%）の減収となりました。これはスチールホイールの販売本数の減少と廉価ホイール等の販売単価が下がったためであります。一方、営業損失は8百万円となり前年同期比13百万円の減益となりましたが、減収による利益の減少を販売費削減と売上原価減少によりカバーしました。

●自動車関連小売事業

自動車関連小売事業は個人消費の低迷が懸念されましたが、今春のETC特需以降も好調に推移した結果、売上高は798百万円となり前年同期比58百万円（7.9%）の増収となりました。一方、営業損失は6百万円と前年同期より50百万円の改善となりました。これは売上の増加と売上原価の減少によるものであります。

●開発事業

開発事業は中央精機(株)等に対する機械設備納入の減少により、売上高は339百万円となり前年同期比329百万円（49.2%）の減収となりました。営業損失は18百万円となり前年同期比25百万円の減益となりました。

●福祉事業

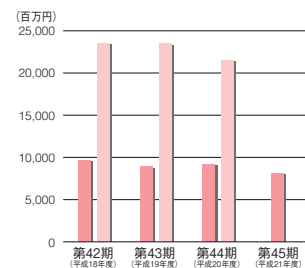
福祉事業は有料老人ホームの順調な推移により、売上高は262百万円となり前年同期比28百万円（12.2%）の増収となりました。営業利益は32百万円となり前年同期比12.0%の増益となりました。

●その他

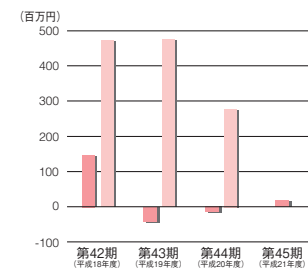
携帯電話代理店事業は売上高は354百万円となり前年同期比11百万円（3.5%）の増収となりました。一方、営業利益は17百万円となり前年同期比18百万円の改善となりました。これは、販売費の削減と携帯電話の販売手数料率が上がり売上原価が下がったためであります。

平成21年12月
代表取締役社長 川口 修

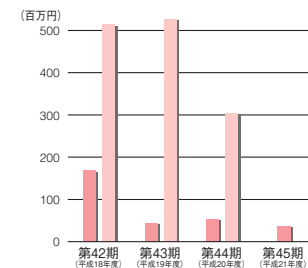
売上高



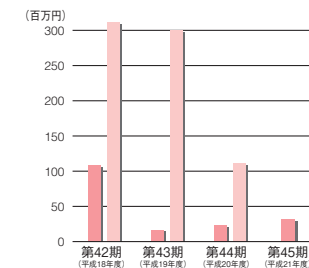
営業利益(損失)



経常利益



四半期(当期)純利益



セグメント別売上高・営業利益（第2四半期連結累計期間）

		セグメント別売上高・営業利益（第2四半期連結累計期間）						計	
		自動車関連卸売	自動車関連小売	開発事業	福祉事業	その他	消 去	(百万円)	
売上高	第45期第2四半期	6,377	798	339	262	354	△ 51	8,082	
	第44期第2四半期	7,252	740	669	234	342	△ 77	9,161	
営業利益	第45期第2四半期	△ 8	△ 6	△ 18	32	17	1	18	
	第44期第2四半期	5	△ 57	7	28	△ 0	0	△ 15	

● 四半期連結財務諸表

45th

四半期連結貸借対照表 (要約) (単位：百万円)

科目	第45期第2四半期末 平成21年9月30日現在	第44期末 平成21年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	6,740	6,649
現金及び預金	632	646
受取手形及び売掛金	2,614	2,942
たな卸資産	2,944	2,587
繰延税金資産	192	48
その他	358	426
貸倒引当金	△2	△2
固定資産	4,972	4,899
有形固定資産	3,410	3,358
建物及び構築物	1,572	1,621
土地	1,431	1,431
建設仮勘定	261	141
その他	145	164
無形固定資産	330	350
投資その他の資産	1,231	1,190
投資有価証券	637	589
繰延税金資産	31	32
その他	570	606
貸倒引当金	△6	△38
資産合計	11,713	11,548

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科目	第45期第2四半期末 平成21年9月30日現在	第44期末 平成21年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	3,858	3,339
買掛金	1,069	907
短期借入金	2,089	1,739
未払法人税等	16	137
その他	682	553
固定負債	1,524	1,620
長期借入金	1,102	1,217
繰延税金負債	84	59
退職給付引当金	44	42
役員退職慰労引当金	125	148
その他	168	152
負債合計	5,382	4,959
(純資産の部)		
株主資本	6,408	6,482
資本金	852	852
資本剰余金	802	802
利益剰余金	4,840	4,840
自己株式	△86	△12
評価・換算差額等	△78	106
その他有価証券評価差額金	21	0
繰延ヘッジ損益	△99	106
為替換算調整勘定	△0	△0
純資産合計	6,330	6,589
負債・純資産合計	11,713	11,548

四半期連結損益計算書 (要約) (単位：百万円)

科目	第45期第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	第44期第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	8,082	9,161
売上原価	6,303	7,276
売上総利益	1,778	1,885
販売費及び一般管理費	1,760	1,900
営業利益 (損失)	18	△15
営業外収益	43	92
営業外費用	25	22
経常利益	36	55
特別利益	19	25
特別損失	—	25
税金等調整前四半期純利益	55	55
法人税、住民税及び事業税	13	9
法人税等調整額	9	24
四半期純利益	32	21

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位：百万円)

科目	第45期第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	第44期第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△14	△412
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△125	△42
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	126	805
IV 現金及び現金同等物の増減額	△13	351
V 現金及び現金同等物の期首残高	646	489
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	632	841

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

今年も応援します！ 「全日本学生対抗チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」



鳩山首相は国連演説で、温室効果ガスを1990年比で2020年までに25%削減することを表明しました。

世界的に深刻な地球温暖化問題に日本として一段と踏み込んだ取組を発表したわけですが、この「温暖化問題」に、ウェッズはいち早く共鳴した活動をしています。その一つとして、大学生の自動車部「全日本学生自動車連盟」と連携し、エコドライブの普及による温暖化防止を呼びかける「全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」を第4回となる今年も支援し、エコドライブの普及・啓発を推進しています。



国連支援交流協会 東京大森支部を設立！

当社は、これまで「チーム・マイナス6%」に加盟するなど環境に配慮する経営を行って参りましたが、国連支援交流協会の環境保全活動等に協賛し、本年5月に「東京大森支部」を設立致しました。

東京大森支部の活動内容については当社ホームページ等を通してご案内する予定です。



なお国連支援交流協会については、下記サイトをご覧ください。

<http://www.fsun.org/top.html>

会社概要

商号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本社	東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階
設立	昭和40年10月12日
資本金	8億5,275万円
従業員数	137名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチール ホイールを中心とした自動車部品・ 用品の販売

役員

取締役社長 (代表取締役)	川口 修
専務取締役	谷越 時義
取締役	東 幸雄
取締役	山口 義弘
取締役	伊澤 秀
常勤監査役	川崎 史博
監査役	加藤 武司
監査役	小林 和夫

※取締役東幸雄氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※監査役加藤武司氏及び小林和夫氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■発行可能株式総数	17,780,000株
■発行済株式の総数	4,445,000株
■単元株式数	100株
■株主数	624名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	38.4
ソシエ ジェネラル エヌアールエイ エヌオー デイ テイ テイ	262,300	6.2
石原 勝成	242,759	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	215,200	5.1
碧海信用金庫	130,000	3.1
ウェッズ従業員持株会	120,410	2.8
民享工業股份有限公司	109,700	2.6
株式会社三井住友銀行	91,000	2.2
六和機械股份有限公司	64,000	1.5
星野 肇	59,100	1.4

※自己株式219,862株を保有していますが、持株比率は自己株式を除く発行済株式の総数に対する割合を示しています。

株価推移

